

OTV杯フェンシング競技、高等学校強化推進運動部指定

5月15日、沖縄市の総合運動公園体育館でOTV杯フェンシング選手権大会が行われ、本校の山口章司君(3-5)がフルーレ種目で優勝、栗國安琉君(3-2)がエペ・サーブル種目で準優勝、藏元星弥君(2-5)がフルーレ・エペ種目で3位という快挙を遂げました。本人達に試合の報告と今後の抱負を聞きました。



山口君：「サーブルも勝ちたかった。インターハイ県予選では絶対に2冠を目指します」悔しそうでしたが、すでに次の目標に焦点を当てている表情でした。

栗國君：「優勝を逃したが、そのおかげで自分の苦手な部分があったので、今度は2,3種目優勝を狙う」と自信に満ちていました。

藏元君：「もっと上位を取りたかった。インターハイ県予選では優勝を目指します」先輩達に気兼ねしてか多くを語りませんでしたが目キラキラ輝いていました。

最後にチームとして、山口キャプテンが「インターハイ県予選では、高校生活最後の大会になるので団体優勝を狙います。そして全国大会に行きます」と熱い思いを語ってくれました。

フルーレ、エペ、サーブルの違いは主に打突の有効面の違いだそうです。私も本校に赴任して初めてフェンシングに接しました。これから勉強していこうと思います。

5月17日、県立総合教育センターにおいて県教育委員会と県高体連から高等学校強化運動部として本校男子ソフトボール部が指定されました。この指定は「本県の競技力を維持向上させるため、高等学校に強化推進運動部を指定し、選手強化事業を推進する」主旨で行われるものです。

さらに指定の基準は、

- 全国高等学校体育大会において上位成績が期待でき、国民体育大会においても入賞が期待できること
- 選手育成において、優秀な実績を持ち、将来とも意欲を持つ指導者の勤務している学校の運動部であること等となっています。つまり、本校男子ソフトボ

ール部はこれまでの実績と将来への期待が評価されたことになり、これほど名誉なことはありません。

部顧問の渡口竜次先生曰く「普段やるべきことをコツコツとやっているだけです・・・」

ソフトボール競技を愛し、生徒への深い愛情がある優秀な指揮官は常に謙虚です。



沖縄も次第に蒸し暑くなってきました。5月27日(金)に沖縄県高等学校総合体育大会の総合開会式が開催され、6月1日まで高校生の熱い戦いが繰り広げられます。本校の生徒たちがこの大きな舞台で一勝一点でも多く、一秒一ミリでも速く高く遠くに、この夢が実現できますように。